IRIS LED LIGHTS
LED照明をはじめビジネスにかかわる旬の情報をお届けします

Information

2021.11
vol.22

ニーズの多様化が施設を進化させる

[COVER PHOTO]

姫路の新たなランドマーク、賑わいと交流の拠点に

アクリエひめじ 様（兵庫県）

[SPECIAL REPORT]

大規模な都市型物流倉庫に無線照明制御がもたらすメリット

三井不動産ロジスティクスパーク船橋Ⅲ 様（千葉県）

IRIS OHYAMA

バックナンバーはこちら

表紙写真：アクリエひめじ 様（兵庫県）

INDEX

01 光のある風景
「四国カルストの朝日」

02 COVER PHOTO
アクリエひめじ 様（兵庫県）
姫路の新たなランドマーク、賑わいと交流の拠点に

03 SPECIAL REPORT
三井不動産ロジスティクスパーク船橋Ⅲ 様（千葉県）
大規模な都市型物流倉庫に
無線照明制御がもたらすメリット

05 INTERVIEW
亜細亜大学 様（東京都）／グローブシップ株式会社 様（東京都）
Society5.0に向けて人間とロボットの協働を実現

06 CASE STUDY　Whiz i IRIS EDITION
■ 全国のさまざまな空間で清掃に除菌に活躍中！

07 NEXT ERA of Business
■ 感染対策と経済活動を両立させることは可能か？
■ 課題解決をトータルで支援し前進する感染対策に

09 ビジネス・トリビア
書籍紹介
『LISTEN ―知性豊かで創造力がある人になれる』
ケイト・マーフィー 著

10 いまどうなっているの？ DX最前線
「防災DXのいま」

11 NEW PRODUCTS & TOPICS
■ UV-C除菌器トロリー
■ 顔認証型AIサーマルカメラPro
■ 業界初！ LED照明で位置情報を取得して
オフィス内の働き方を可視化

13 NEW PRODUCTS & TOPICS
■ LED一体型をはじめ非常灯を自社生産
■ 使いやすさとプライバシーを両立した小物収納庫
「パーソナルボックス」

14 IRIS CHITOSE News!
オンラインワークで大活躍！フルクローズ型ブース
TELECUBE by IRIS CHITOSE

愛媛と高知の県境に沿うように広がる四国カルストは、標高約1,400m、東西約25kmの長さを誇る日本三大カルストのひとつ。そこを走る県道383号線は別名「天空の道」と呼ばれ、360度の雄大なパノラマ風景が楽しめるドライブルートです。なかでも、最も標高が高い天狗高原の頂からは尾根の連なりを一望でき、眼下に広がる芸術的な雲海に出逢えることも。夜明け前には、山々の稜線からまばゆい光を放ちながら昇る太陽が暗闇を少しずつオレンジ色に染め、幻想的な光のシャワーがなだらかな山肌と白い石灰岩を美しく照らし出し、訪れた多くの人を魅了することで有名です。

四国カルスト

［所在地］
愛媛県上浮穴郡久万高原町／高知県高岡郡津野町（天狗高原）
［アクセス］
松山駅から車で約1時間50分。高知駅から車で約2時間。
※冬季は事前に通行止め・交通規制情報を確認してください。

COVER PHOTO

姫路市文化コンベンションセンター アクリエひめじ 様　兵庫県姫路市

姫路市文化コンベンションセンター アクリエひめじ 様は、2021年9月に開館した姫路市の大規模複合施設。「アクリエ」には「未来へ続く、新しい創造の架け橋となる場所に」との想いが込められています。設備内には、規模と機能の異なる大中小のホールを備え、スタジオスペースや大空間の平土間展示場、会議室などがあり、国内外の音楽公演や舞台芸術、講演会など、多様なジャンルの催事に対応。播磨圏域最大級となる大ホールの客席は3層バルコニー形式で、舞台までの距離を感じさせない、臨場感あふれる鑑賞体験を生み出します。本格的な音響設備のほか、車椅子席や多目的鑑賞室を配置し、ユニバーサルデザインにも配慮しています。

天井には星空照明と名付けられた、さまざまな光色のダウンライトがランダムに配置されています。まるで天の川に包まれたかのような感覚で、訪れた人に安らぎを与えます。アイリスオーヤマでは、建物コンセプトに合わせた照明器具を開発・納入。姫路の魅力向上と賑わいと交流の拠点として、多くの皆様に親しまれ、愛着を持っていただける施設づくりの一助となることを目指しました。

■主な納入商品
・星空照明（ダウンライト）
・間接照明（フレキシブルユニット）
・屋外用ライン照明

アクリエひめじ 様
［所在地］ 兵庫県姫路市神屋町143-2
［延床面積］ 28,224㎡
［階数］ 地下1階、地上5階、棟屋1階
［設計］ 株式会社日建設計 様
［施工］ 竹中工務店・神崎組・平錦建設ＪＶ 様
［アクセス］ JR姫路駅から徒歩約10分

三井不動産ロジスティクスパーク船橋Ⅲ 様（千葉県）

大規模な都市型物流倉庫に
無線照明制御がもたらすメリット

利用者・地域・環境と共生する「街づくり型大型物流施設」

2021年6月に竣工した「三井不動産ロジスティクスパーク船橋Ⅲ 様（以下、MFLP船橋Ⅲ 様）」は、8年の歳月をかけて開発された街づくり型物流施設「MFLP船橋」の3棟目の建物として建設されました。延べ床面積約270,000㎡の物流業界最大級のスペースに加え、SDGsへの対応や、業界トップレベルのセキュリティ、BCP計画、感染対策設備、屋外テラスやラウンジを備えるなど、テナント入居者が安心・快適に利用できる物流施設を目指しています。そして、東京都心に近く配送の利便性が高い、通勤しやすく従業員の確保にも適しているなど、立地面でも大きなアドバンテージを提供します。三井不動産のご担当者様は、「従来、倉庫はコストセンター*でしたが、近年はECの台頭などでプロフィットセンター*としてとらえる企業様が多くいらっしゃいます。そのようなお客様のご要望に応えられるように立地選定や人集めなどの手助けになるような施設づくりを目指しています。」と語っておられます。これまでの物流施設の常識にとらわれない施設コンセプトで、テナント入居企業様に多くの利益をもたらします。

三井不動産ロジスティクスパーク船橋Ⅲ 様

［所在地］ 千葉県船橋市浜町2-4-7
［敷地面積］ 58,857㎡
［延床面積］ 271,051㎡
［設計・施工］ 株式会社 大林組 様
［規模・構造］ 地上8階建て・RC・S造・免震構造
［アクセス］ JR京葉線 南船橋駅 徒歩約9分
［納入器具］ 無線制御システム「ライコネックス」
LEDベースライト「ラインルクス」人感センサータイプ ライコネックス対応
ドーム型 サーマルカメラ

＊「コストセンター」：直接収益を生み出さない部門。「プロフィットセンター」：利益に責任を持ち、収益から費用を差し引いた利益を生み出す部門。

アイリスオーヤマの無線制御システム LICONEX ライコネックス

［物流倉庫でのライコネックスのメリット］

① 梁や荷物があっても通信可能な無線制御方式
照明器具をつなぐ信号を伝える最適ルートを自動で選択する「メッシュリンク」を採用。信号線が敷設されていない既設施設への導入にも適しています。

② テナントニーズに応える柔軟なグループ設定
一括操作できるグループを自由に変更できるため、テナントの入れ替えで使用スペースが変更されても、設定変更で対応が可能です。

③ 長距離通信で大空間にも対応するロングレンジタイプ
最大通信距離500mのロングレンジタイプもご用意。梁や通路、荷物などがあっても安定した通信を実現できます。

オフィススペースは天井高約3.6mの開放的な空間。事前の照明設計により、デスクワークに十分な机上面照度を確保しています。

巨大なスペースでも手元で照明の操作が可能

アイリスオーヤマでは、照明を無線で制御する、当社オリジナル制御システム「ライコネックス」と人感センサータイプのLEDベースライト「ラインルクス」を納入しました。ライコネックスは無線方式のため信号線の設置工事が不要で、大型の物流倉庫でも導入しやすいのが特長。MFLP船橋Ⅲ 様のような新築の建物はもちろん、既設の物流倉庫の照明リニューアルに伴った導入にも適しています。ライコネックスを採用された経緯について、ご担当者様は「照明については、従来はまめに消すなど人の手に頼ったコントロールしかできませんでした。しかし倉庫は面積が巨大なため、そのような動作にも手間がかかる実情がありましたが、ライコネックスを導入することで電気代を削減できるのではと考えました。」とお話しになっております。倉庫空間での省エネ・電気代コスト削減を期待されたことが導入のポイントで、テナントごとに異なる空間の利用目的、照明の点灯時間、必要な明るさに対応できることが、ライコネックスのメリットとなっています。

テナント企業様からも「電気代が削減できた」と評価

ライコネックスではテナントごとに制御する照明のグルーピングが可能なため、テナントごとに最適な照明利用を実現できます。さらに、主照明に人感センサータイプのLEDベースライト「ラインルクス」を採用することで、照明の操作をしなくても、不在のエリアは自動で暗くなるようにし、省エネ対策と作業効率を両立できます。テナントを利用する企業様からも、「省エネ効果があり助かる」との評価をいただいているとのことです。

また、出入口の前には、感染対策として体表温度を約1秒で測定するAIサーマルカメラ、試験設置ではあるものの施設空間内の温湿度やCO_2濃度の測定結果をモニターに映し出す表示サービスを納入しました。

照明のライコネックス網を使ってセンサーから温度湿度、CO_2濃度の測定情報を収集。ディスプレイに結果を表示するサービスもテナント様向けプロモーションとして試験的に導入。

入口ゲート前に設けられたAIサーマルカメラ。大型ディスプレイで体表温度測定の結果をすぐに確認できます。

時が経つほど魅力的な街に「経年優化」の街づくり

MFLP船橋Ⅲ 様は、数々の環境配慮への取り組み、立地や働きやすい施設整備による労働人口の確保、周辺環境との共生など、これまでの物流施設が抱える諸問題の解消に挑まれ、南船橋エリアの賑わいを生み出し、時がたつほど街の魅力が高まる「経年優化」の街づくりを目指しています。隣接する約20,000㎡の緑地とスポーツ施設を含む「MFLP船橋・&PARK」、近隣の「三井ショッピングパーク ららぽーとTOKYO-BAY」と連携し、地域社会や環境との共生を目標としています。

「荷物を保管する建物」という物流倉庫の常識にとどまらず、物流体制全体にアドバンテージを生み出す新たな物流施設です。

INTERVIEW

亜細亜大学 様（東京都）／グローブシップ株式会社 様（東京都）

Society5.0に向けて人間とロボットの協働を実現

Whiz i（ウィズアイ）IRIS EDITION

学校法人亜細亜学園　亜細亜大学 様

東京都武蔵野市に位置する武蔵野キャンパスに経営学部、経済学部、法学部、国際関係学部、都市創造学部の5つの学部を設置。

グローブシップ株式会社 様

ビル総合管理、設備管理、保安警備、防災設備管理、清掃管理など、ビル管理業務を幅広く事業を展開。

広大な亜細亜大学武蔵野キャンパスの清掃を担当するのは、グローブシップ株式会社様。戦略的にロボット技術に力を入れていくという方針の下、図書館と大学事務室や教員研究室のある1号館でWhiz i アイリスエディションの使用を開始しました。

【お話を伺った方】
亜細亜大学 財務部 施設課長
中村 正和 様（写真左）

グローブシップ株式会社
亜細亜大学武蔵野キャンパス出張所所長
今井 俊介 様（写真右）

人間とロボットの協働で清掃時間を短縮

― Whiz i アイリスエディションを使用しているのは図書館だと伺いました。

今井様　清掃する床面積が広いので、人とロボットの協働という観点から図書館の清掃に導入しました。現在は月曜から土曜まで開館前に床などの共用部をWhiz i アイリスエディションで清掃しています。導入前は、清掃員プラスヘルプスタッフで清掃作業に1日あたり合計約4.5 時間かかっていました。導入後は、Whiz i アイリスエディションが床を清掃している間に、清掃員は机上を清掃したりゴミを回収して図書館の外のゴミ置場に運んだりできるようになり、清掃時間を約3.5時間に短縮できています。

― Whiz i アイリスエディション導入に対して清掃員の方はどのような反応でしたか？

今井様　最初に導入の話を聞いたとき、私も含め清掃員たちは多少の抵抗がありました。実際に使い始めてみると、とても便利で使いやすいことを実感しました。60代の清掃員は、1週間もしないうちに慣れたようで、今では「操作パネルもわかりやすく、ボタン1つで清掃を開始できるのでとても使い勝手が良い」と言っています。

操作が分かりやすく使いやすいと好評。走行の設定は社員が行い、日常業務は50～60代の清掃員が担当。

― 亜細亜大学 様としては、ロボットによる清掃をどのように感じられましたか？

中村様　実は、グローブシップさんのセミナーで、「今後、戦略的にロボット技術に力を入れていく」という話は聞いていました。「テスト的に図書館にロボットを入れて清掃したい」という申し出があった時には、躊躇なく試用を決めました。

私どもは大学という教育機関ですので、国が提唱する“Society5.0”に積極的に取り組んでいますが、学生が直接AIやロボットに接する機会はまだまだ少ないというのが現状です。コロナ禍のなか、キャンパスに来られない学生はWhiz i アイリスエディションを間近で見たことはありません。しかし、清掃している様子を見た職員の反響は思った以上で、ロボットの存在や人間とロボットの共存を身近に感じているようです。

これからは人間とロボットの協働がますます盛んな時代が訪れるはずです。そのきっかけとして、亜細亜大学でも人間とロボットの協働のシーンを作っていきたいと思います。

詳しい記事はこちらから ご覧いただけます

▶ ロボティクス事例ページ

※「Whiz i アイリスエディション」は、ソフトバンクロボティクスの「Whiz i」に、業界ニーズに合わせたアイリスオーヤマ独自のオプションの追加を可能にしたDX清掃ロボットです。

CASE STUDY

CASE STUDY　お客様事例　DX清掃ロボット Whiz i アイリスエディション

全国のさまざまな空間で清掃に除菌に活躍中！

ダイエー 様

金光薬品 様

ヤスサキワイホーム 様

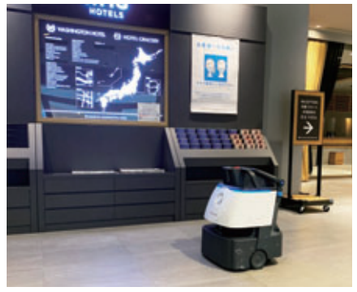
大星ビルメンテナンス 様

福島県南相馬市 様

神奈川工科大学 様

特別養護老人ホーム さくら苑 様

藤田観光 様



アコーディア・ゴルフ 様

IRIS OHYAMA | SoftBank Robotics

DX清掃ロボット

Whiz i（ウィズアイ）IRIS EDITION

自動清掃と除菌で「業務の効率化」「清潔度向上」を実現

床清掃を目的とする自律走行が可能な乾式バキュームクリーナーの清掃ロボットです。自動運転技術を活用した自律清掃で、人とロボットが協働し、清掃業界が抱える人材不足という社会的課題を解決します。

Whiz i アイリスエディション Webサイト

感染対策と経済活動を両立させることは可能か？

第三者認証の普及と経済活動の本格的再開に向けた動き

広がりを見せる自治体による第三者認証

新型コロナウイルスの感染は2021年10月現在、沈静化の傾向があるものの、飲食業、観光・宿泊業を中心に、多くの業界でいまだに制約を受けています。第4波、第5波というように沈静化しては流行し、休業要請や旅行の自粛など、本格的な経済活動を再開できず、多くの関係者が頭を悩ませています。こうした状況の中で自治体では、感染対策を適切に行っている飲食店を自治体が認証する「第三者認証制度」を導入し、感染対策と経済活動の両立を目指す動きが広まっています。認証の必須条件として、「すべての客席に目を覆う高さ以上のパーティションを設置、または座席の間隔を1m以上空ける」、「会話など飲食以外の場面ではマスク着用を推奨する」、「最低2方向以上の窓を全開し、30分に5分程度換気する」、「入店者の温度測定を行う」などがあり、政府から各都道府県に対して導入するように通達されています。

自治体が太鼓判を押す「やまなしグリーン・ゾーン認証」

第三者認証の先駆けとなっているのは、山梨県が昨年から実施している「やまなしグリーン・ゾーン認証（通称・山梨モデル）」です。休業や時短営業を要請するのではなく、感染対策の基準を明示し、事業者はWebから申請、適合しているか県が実地調査したうえで、認証するという流れです。

「山梨モデル」の確立で成果が表れたのは、県が認証という太鼓判を押したことから、利用者も施設も安心・信頼できる基準ができたということです。一般の利用者からすると、飲食店や宿泊施設の感染対策が十分かどうかは判断がつきにくいため、認証されていることが飲食店を選択する際の基準の一つになりえます。このことから、感染対策はいまや飲食店や宿泊施設のブランディングにとって重要な項目だと言えます。

やまなしグリーン・ゾーン認証施設

出所：「やまなしグリーン・ゾーン認証」Webサイト

課題は変異株への対応と認証スピードの向上

課題として挙げられるのが、従来の感染対策では不十分だった変異株への対応。山梨県では、感染力の強い変異株の特性に合わせて、店内BGMの音量に目安を設ける、不織布マスク着用の徹底など、認証基準を軌道修正し、変異株対応済施設に関する情報を県のWebサイトで公開しています。施設側も公的な認証を得ることができ、利用者側も容易に情報を知ることができます。今後は、新たな対策の効果やほかの自治体の動向が注目されています。

2つ目の課題は、認証に要する時間をいかに短縮するかということ。一部では認証を希望する施設からの申請数が予想を大きく上回り、人手の不足からなかなか認証審査が進まないという問題が起きています。これを解消するため、第三者認証と関わりの深い旅行会社に外部委託し審査のスピードを上げるなど、官民が連携した新たな取り組みも始まっています。

課題解決をトータルで支援し前進する感染対策に

社会課題の解決を目標とした商品の開発・販売で持続可能な社会に貢献

感染対策へのスピーディーな対応で経済活動を後押し

新型コロナウイルス感染症が流行しはじめた昨年から、アイリスオーヤマでは感染対策商品の開発・販売を進めています。マスクの国内生産を皮切りに、サーマルカメラやアクリル製パネルなどの対策商品を順次開発・発売し、感染対策の強化と経済活動を支援するアクションを続けています。

昨年から販売する**「顔認証型サーマルカメラ**→P.11**」**は、顔の表面温度を測定でき、さらに非接触でセキュリティ認証ができることから感染対策に有効です。顔認証で入退出管理や出退勤管理も可能です。

ウイルス対策では、紫外線の一種UV-Cを使って、空気中や家具表面のウイルスを抑制する**「UV-C Light空気除菌器**→P.11**」**を販売。オフィスや教育施設、店舗など幅広い施設でご利用いただいています。

また、リモートワークやオンライン会議など、いまやスタンダードになった働き方をサポートする商品・サービスを展開します。**「AIインタラクティブホワイトボード」**は、手書きの文字入力はもちろん、一台に高画質カメラやスピーカーを搭載し、オンライン会議のデメリットだった、接続準備の煩わしさや表情が伝わりにくいなどの問題を解消します。

リモートワークの普及で「誰が出社しているか分からない」という新たな悩みも発生しました。この問題を解決すべく、今年8月には**「働き方改革支援サービス**→P.12**」**をリリースしました。社員の［出社］［リモートワーク］の状況をスマートフォンアプリで確認できるほか、メッセージや内線電話、位置情報を利用して出社率や利用が多い部屋を特定するなど、新しい働き方を支援するサービスです。

以上の対策は社内でも取り組んでおり、アイリスグループの東京での拠点「TOKYO ANTENNA OFFICE」は、新型コロナウイルスの流行に対して働く人の健康と安全に配慮した施設として、第三者検証によるグローバル基準の評価である「WELL Health-Safety Rating*」を取得しています。

人手不足などの社会課題の解消にも挑戦

感染対策以外の社会課題では、多くの業界が抱える人手不足やコスト削減、働きやすい労働環境の実現などに取り組んでいます。例えば、多くの施設ではコロナ禍でテーブルや手すりの除菌など清掃業務の負担が増大したうえ、清掃員の確保も大きな課題となっています。**DX清掃ロボット「Whiz i アイリスエディション」**は、AIによる床の自動清掃で、床清掃品質の向上と時間短縮が可能です。清掃と共にウイルスや菌を除去できることから、感染対策の徹底や人手不足解消などの効果をもたらします。料理の配膳・運搬を助けるロボット**「Servi アイリスエディション」**は、飲食店を中心に接客時間の創出によるサービス向上や人手不足解消をサポートします。

アイリスオーヤマでは、この先も新型コロナウイルス感染症のような社会課題を解決できるように事業展開・商品開発を進め、安心・安全で持続可能な社会の実現をお手伝いしてまいります。

＊ WELL認証の運営機関であるIWBIが公開した、新型コロナウイルスのベストプラクティス実践に役立てるために設定された認証。専門家やウイルス学者、政府関係者などで構成されたIWBIタスクフォースによりエビデンスベースで開発された取組項目を満たしているかによって評価する。

アイリスオーヤマの感染対策トータルソリューション

不織布マスク

飛散防止パネル

顔認証型AIサーマルカメラ

UV-C Light 空気除菌器

AIインタラクティブホワイトボード

DX清掃ロボット
Whiz i アイリスエディション

配膳・運搬ロボット
Servi アイリスエディション

知って役立つ！ビジネスの豆知識 **ビジネス・トリビア**

第11回 「聞くこと」は最高の知性、創造力を生む「聴き方」のすべて。

LISTEN
知性豊かで創造力がある人になれる

ケイト・マーフィー 著　出版社：日経BP

ヒューストンを拠点に活動するジャーナリスト。ニューヨーク・タイムズ、ウォール・ストリートジャーナルなどで活躍。健康、テクノロジー、科学、デザイン、航空、ビジネス、ファッション、グルメなど多岐に渡るトピックを執筆。

監訳者：篠田真貴子

エール株式会社取締役。社外人材によるオンライン1on1を通じて組織改革を進める企業を支援。「聴き合う組織」が増えること、「聴くこと」によって一人ひとりが自分らしくあれる社会に近づくことを目指して経営にあたる。

訳者：松丸さとみ

会話上手は「聞き上手」であること

会話中に相手が時計を見たり途中で話をさえぎったりして、自分の話を最後まで聞いてもらえなかった経験は誰もがあるところ。ビジネスやコミュニケーションにおいて、これまでは話し方に主眼が置かれてきましたが、近年では聞き方にスポットが当てられることが多くなりました。本書は、ジャーナリストである著者が、さまざまな職種や立場、境遇の人にインタビューした経験談を交えながら、「聞き上手は会話上手である」とし、認知や心理、人間関係、そして現代社会に欠かせないコミュニケーションツールとなったスマートフォンとの関係性を通じて、「聞くこと」の大切さを説いた一冊です。

相手の話を傾聴することが自己の成長につながる

「あなたが最後に、誰かの話に耳を傾けたのはいつだったか、覚えていますか？」から始まる本書は、日頃から蔑ろにしがちな“聞く姿勢”について、鋭い問題提起を投げかけます。著者は、会話がうまく成立しない理由には、「相手の話中に“次は自分が何を話そうか”考えていること」や、「親しい人のことは何でも知っているという思い込み」、「見知らぬ人の話や反対意見は傾聴しない」など、誰しも身に覚えのある会話パターンや相手への先入観が起因しているとし、その原因を分析していくことで、相手の話に集中して耳を傾けられる方法を解説します。

さらに著者はこう続けます。「聞き上手な人ほど相手と同じ感情になって話を聞くことができる。話し手の表情や仕草をつぶさに観察し、なぜ自分に話をしているのか？どういう心理状態なのか？を洞察することで共感が生まれる。」その結果、自分だけでは得られなかった知識や経験を相手の話から吸収でき、自己の成長や学びにつながるのだと言います。本文中で紹介された元FBIの人質交渉主任による「私が考える優れた聞き手とは、他の人の経験や考えに喜んで耳を傾け、相手の視点を認められる人」という言葉が、聞くことの本質を表しています。

情報があふれる現代だからこそ急がず我慢強く話を聞く

著者は、丁寧かつ適切に話を聞くことで話し手の緊張が解けるだけでなく、聞き手である自分自身が持つ誤解や先入観が取り払われ、ビジネスやプライベートのどのような状況でも人間関係がうまくいく土台ができると言います。情報にあふれ変化が激しい現代では、根気強く聞くことが後回しにされつつありますが、誰もが求める「人を理解し自分を理解すること」を実現するためには、急がず、意識的にじっくり「聴く」ことが必要。知性豊かで創造力のある「聴き方」のバイブルとして、取り入れてみてはいかがでしょうか。

DX　いまどうなっているの？ DX（デジタルトランスフォーメーション）最前線　**防災DXのいま**

目覚ましい進化を遂げるデジタルトランスフォーメーション（DX）。各業界でどのような変革をもたらしているのか、最新事例を交えながら紹介していきます。

被災者ニーズに応える防災体制をDXで実現

近年、地震や水害などの自然災害が日本各地で頻発していることもあり、日本では防災への意識が高まっており、さらに2020年に総務省が「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」を発表し、自治体でのDX推進の機運が高まっています。

防災の課題の一つと言われている、備蓄食品の管理にDXが進んでいます。これまでの人手に頼る管理方法だと、いつの間にか保存期限を過ぎていた、担当者が交替してローリングストックが上手くいかないなど、管理自体に問題を抱えていました。DXで備蓄品をデータ管理することで、賞味期限が近付いた食品はシステムが自動検出し地域のイベントに活用するなど、在庫管理を最適化し、無駄をなくすことができます。また、高齢者や傷病者、乳幼児、アレルギーなど、通常の備蓄食が食べられない住民への対応もDXで解消。住民の人口構成やアレルギー情報などをシステムに登録することで、住民に合わせた備蓄品を備えられます。

備蓄のDXを手掛ける、ベル・ホールディングス 代表取締役社長 中西 洋彰 様によると、「ある地方で試算したところ、住民の約20%が乾パンなどの備蓄食が固かったり栄養面で問題があったり食べられないという結果が出ました。これは食物アレルギーや病を抱える住民や年齢構成に合わせた備蓄に手が回らないからで、せっかく避難したのに食が合わずに体調を崩してしまったら非常に残念です。備蓄食に限らず、自治体が個別で防災に取り組むには限界があり、周辺の自治体や地元企業などと広域連携をしていくことが今後の防災には必要です。DXはこの問題を解決し、賞味期限が迫る前に計画的にフードバンクなどへ寄付することで食品ロスを減らしたり、人口構成に合わせた非常食を提供したり、混雑していない避難所を案内したり、地域住民のみなさまにより安心いただける環境を提供できます」。

一般的な備蓄食は固い、栄養に隔たりがあるなどの理由で、高齢者や乳幼児が食べられないケースもある。

その他にも、チャットボットを使った情報伝達・安否確認の試験運用、VRを利用した災害の体験など、防災のさまざまな面でDXは進んでいます。いつ来るか分からない災害だからこそ、DXで平常時の運用を効率化し、万が一の事態に万全に備えることが必要だと言えます。

備蓄DXのポイント

［協力］ベル・データ株式会社 様

課題

■住民のニーズに合わせた備蓄食が用意できていない

堅いものが食べられない高齢者、ミルク・離乳食が必要な乳幼児、食事に制限がある疾病者、アレルギー症状、ハラル*などの要配慮者を把握しきれないため避難時に対応できない。

*ハラル … イスラム法上で食べることが許されている料理のこと。

■備蓄食の在庫管理がうまく行かない

紙の書類では賞味期限の見落としや備蓄の更新漏れなどが生じることもあり備蓄食の管理が難しい。
自治体の担当者が交替すると管理方法が変わり混乱する など。

■避難所の受け入れ可能人数、備蓄数が住民に伝わっていない

避難所の詳しい情報を住民が知ることができず、避難所によっては住民が過多となり避難物資が行き渡らない、休むための十分なスペースが足りないなどの問題が発生。

DXによる改善の例

■住民の健康情報をデータ管理し必要とする非常食を必要分備蓄できる

高齢者や子育て家庭の人数を事前に把握し、食べやすいゼリーや離乳食、ミルク、疾病者向けの食事などの、必要な数量を備蓄できる。

■備蓄食をデータ管理することで賞味期限が近付いた食料を事前に把握できる

システムに登録した備蓄食は賞味期限が近付くと、管理者に通知。フードバンクへ寄付したり地域のイベントに利用してもらったり、無理のないローリングストックを確立できる。

■避難所の詳細情報をシステム上で誰でも閲覧が可能

避難所の受け入れ可能人数、備蓄数を住民が事前に閲覧可能。国、周辺自治体とのシステム連携で避難所や備蓄庫の最適な場所への配置で、偏りがない避難体制を構築可能。

NEW PRODUCT

紫外線で机や床表面を広範囲に除菌「UV-C除菌器トロリー」

PHILIPS
UV-C disinfection luminaires

除菌に高い効果がある紫外線の一種UV-Cを使用

あらゆるシーンで除菌が必須となったいま、除菌作業の負担を軽減するのは大きな課題です。アイリスオーヤマは、紫外線の一種UV-Cを使った「UV-C除菌器*1トロリー」を発売します。オフィス、病院、学校、飲食店などさまざまな施設で使用可能なコンセントタイプ。最大約380㎡（ライトから半径約11m）内の机や壁に付着するウイルス・菌を抑制し、人の手での除菌作業を軽減します。無人状態で使用する必要がありますが、人感センサーやタイマー、リモコンを搭載し、安全に利用できます。

［お問い合わせ］
LED事業部 TEL.03-5843-7747

*1 シグニファイジャパン合同会社（本社：東京都品川区、職務執行者 社長：園田悟）が製造・販売する、紫外線の一種であるUV-C光を用いた細菌やウイルスを除菌する「フィリップスUV-C除菌機器シリーズ」。本製品はUV-C（紫外線）を放射します。保護されていない状態のUV-Cライトの光をのぞき込んだり、皮膚に当てないでください。

NEW PRODUCT

温度測定にもセキュリティ管理にも対応「顔認証型AIサーマルカメラPro」

FeliCa式ICカードに対応し更なるセキュリティ強化に

アイリスオーヤマは、昨年から販売する顔認証型AIサーマルカメラに新商品を投入します。「顔認証型AIサーマルカメラPro」は、業界最速*2約0.2秒で顔認証と表面温度測定を同時に行える機能性はそのままに、日本で広く普及しているFeliCa方式のICカード認証にも対応。ICカードを使用している施設での導入を促進し、顔認証を使った非接触でのセキュリティ管理や出退勤管理の導入を容易にします。

顔認証を使った入退出管理、表面温度測定を同時に実施可能。非接触で安心・安全なセキュリティ管理を実現します。

日本で最も普及しているFeliCa方式ICカードに対応。運用中のICカードを使った入館管理が可能なため、顔認証への移行がスムーズにできます。

［お問い合わせ］
AIカメラ事業部 TEL.03-5843-7747

*2 顔認証型AIサーマルカメラにおいて。2021年6月時点。当社調べ。

NEW SERVICE

業界初!LED照明で位置情報を取得してオフィス内の働き方を可視化

アプリで出社状況の把握やコミュニケーションが取れる

アイリスオーヤマは、レッドフォックス株式会社とオフィス内の位置情報を活用した「LiCONEX働き方改革支援サービス」の提供を開始しました。新型コロナウイルス感染拡大により、時差出勤やテレワークなどを推進する企業が増えました。一方で出退勤時間や残業時間、休暇取得など就労管理に関するニーズが高まっています。

当サービスは、当社独自の無線制御システム「LiCONEX」とレッドフォックス社が提供する、社外で働くワーカーの業務を効率化するアプリ「cyzen（サイゼン）」を組み合わせた業界初のサービスです。オフィスでの従業員の出社率計測や勤務時間中のフロア内での動きを位置情報で自動記録し、アプリ内のメッセージ機能や内線電話を活用し、より効率的なコミュニケーションを実現します。また、勤務状況のデータを可視化し、就労状況の確認やフロア内の導線改善、密エリアの発見など労務管理と感染対策を実現します。

出社状況が分かる!

勤務状況が分かる!

メッセージが送れる!

IP電話が使える!

他にもオフィスでの働き方を円滑にする機能が満載！詳しくは特設サイトをご覧ください。

働き方改革支援サービス特設サイト

〈月々の料金〉
¥50,000～（1フロア）

※契約期間は12か月となります。13か月目以降は12か月毎の契約更新となります。
※12か月以内の解約の場合は、残契約期間の利用料を解約料として頂きます。

NEW PRODUCT LED一体型をはじめ非常灯を自社生産

屋内照明の トータル発注が可能に

アイリスオーヤマは、災害時などの停電時に避難路の明るさを確保する非常灯の自社生産を進めています。非常灯は建築基準法で一定以上の基準を満たす建物への設置が義務付けられており、当社はこれまで培ったLED照明の技術で省エネかつ必要な照度を確保する非常灯を開発。LEDベースライト「ラインルクス」シリーズと意匠を統一した「LED一体型」をはじめとしたラインナップを取り揃え、屋内照明の当社での総合的な取り扱いが可能になりました。

［お問い合わせ］
LED事業部
TEL.03-5843-7747

LED総合カタログ［電子版］はこちらから▶

NEW PRODUCT 使いやすさとプライバシーを両立した 小物収納庫「パーソナルボックス」

トイレなどに設置する 個人専用の小物収納庫

働きやすい環境の整備が進むにつれ、オフィスビルを中心に個人ロッカーの普及・設置が進んでいます。アイリスオーヤマでは、トイレなどに設置して、歯みがきセットや身だしなみ用品、サニタリー用品を収納できる小型収納庫「パーソナルボックス」を発売します。建築空間に溶けこむスマートな埋込タイプと後付けが可能なスタンドタイプをラインナップ。扉の開閉方式は3種類からお選びいただけます。使いやすさとプライバシー、デザイン性に配慮し、働きやすいオフィス環境の充実に貢献します。

［お問い合わせ］
建材事業部 TEL. 03-5843-7753

写真は埋込タイプ。場所やニーズに合わせてボックス数の増減も可能です。

小物収納に最適

歯ブラシやコップ、化粧品など日常的に使用する小物の収納に最適です。スマートフォンや貴重品などの一時保管にも利用できます。

安心のセキュリティ

ICカードをセンサーにかざし、自動で解錠できる「ICカード式」。入退出用のICカードを兼用できます。プッシュラッチ式、ダイヤルロック式もご用意。

オンラインワークで大活躍！ フルクローズ型ブース

TELECUBE by IRIS CHITOSE

多数の企業様に納品、利用いただいているフルクローズ型ブース「テレキューブ by アイリスチトセ」。働く環境が変化する中、なぜこれだけ需要があるのか、その詳細をここでご紹介します。

開発の背景とは

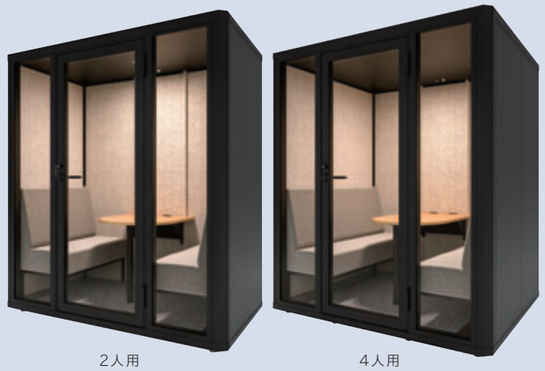
コロナ禍によって急激に増えたオンライン商談やWEB会議。オフィス内でオンライン商談するにも音が気になる、かといって会議室を使うと1人のために会議室が埋まってしまうなどといった問題がありました。テレキューブは遮音性に優れるのはもちろん、アイリスオーヤマのLED照明を利用した調光式ライン照明により顔の映りを良くして相手に好印象を与えます。さらに、壁付モニターで作業効率をUPさせるなど、アイリスグループならではのオリジナリティで、オンラインでの商談や会議をサポートします。

オンラインワークに最適な機能

［優れた遮音性］
［壁付モニターで作業効率アップ］
［優れた通気性］

［LEDライトで顔がはっきり写る］
［音漏れに配慮した吸音フェルト］

2人用、4人用も登場

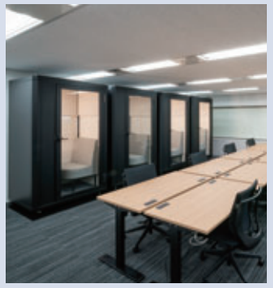


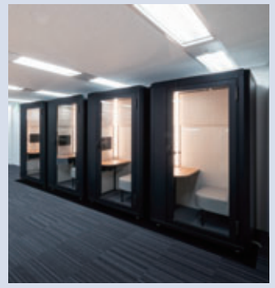
2人用　4人用

TVでもご紹介いただきました

テレビ東京「日経スペシャルカンブリア宮殿」内のコーナー「アイデアの扉」でテレキューブが取り上げられました。

多数の企業様にご採用いただいています





[2012年開設]

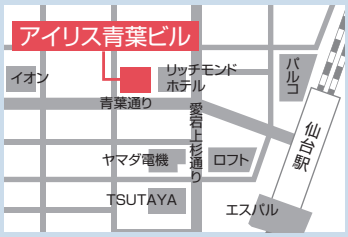
アイリス青葉ビル 宮城県仙台市

女性就労を支援する
ネット通販の拠点として開設

仙台市にある「アイリス青葉ビル」は、2011年3月の東日本大震災をきっかけに、地元の人材に対する就労支援を目的として2012年に開設しました。主に女性の雇用の受け皿として、仙台駅から徒歩3分の場所で「働きやすく通いやすい」職場を目指しました。

アイリス青葉ビルにはインターネット通販サイトを運営するアイリスプラザが入居。女性社員が約9割を占め、きめ細かく配慮できる女性ならではの感性をサイト運営に生かすことで、ネット通販事業の成長につなげています。

最上階には社員なら誰でも利用できるラウンジを設置。低価格でサラダバーやドリンクが楽しめるなど、働く多くの女性社員の食生活を支え、部署を超えた交流の場にもなっています。



アイリス青葉ビル
宮城県仙台市青葉区中央2-1-7
JR仙台駅より徒歩3分
TEL 022-726-6395

アイリスオーヤマ
公式通販サイト
アイリスプラザ

家電から食品、法人向け商品まで
豊富な品揃えをネットで買える

アイリスオーヤマ公式のインターネット通販サイト。アイリスオーヤマ商品を中心に、家電製品、食品、インテリア家具、調理用品、ペット用品、オフィス用品など豊富な品揃えを取り扱っています。季節のおすすめ、暮らしのワンポイントなどの情報も発信し、快適な暮らしの実現を提案します。ビジネス専門ページでは、法人向けLED照明、タイルカーペットなどを販売。大口注文の割引を設定するなど、法人様でもご利用いただける通販サイトです。

Present

アンケートにお答えいただいた方に
抽選でプレゼント!

Webサイト掲載商品なら
どれでも使える!

アイリスオーヤマ通販サイト
アイリスプラザで使える
プラザポイント
¥5,000分を

抽選で
10名様

※ポイントをご利用の際は、アイリスプラザのユーザー登録が必要です。詳しくはホームページをご覧ください。

応募は
こちらから

応募の締め切りは 2021年12月24日(金)です。
https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/ledinformation22/enquete/
※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

アイリスオーヤマ株式会社 BtoB事業グループ
〒105-0013 東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クレアタワー19F

建設業許可番号:国土交通大臣 許可　建築工事業・土木工事業・舗装工事業(特-2) 第24732号
電気工事業・内装仕上工事業(般-2) 第24732号
登録番号:一級建築士事務所　宮城県知事登録　第20710086号
届出電気通信事業者　I-02-00944

●製品の色は印刷のため実際の色とは異なる場合があります。
●製品の仕様・発売日は予告なく変更することがあります。
本誌に掲載の写真・文章・イラストの無断転載はご遠慮ください。

本誌掲載内容、製品のお問い合わせは
TEL 03-5843-7747

本誌掲載の詳しい内容は当社ホームページでご覧いただけます。
アイリス LED 法人 検索

ビジネスの旬な情報や納入事例をお届けしています
アイリスオーヤマ B to B事業グループ で検索!

2021年11月発行　96140